

令和 5 年度

南畑敷生協団地老朽管更新工事

数 量 計 算 書

(1 工区) $\phi 100$

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
1. 土 工					
	舗装切断工	As版カッター t =15 c mまで	m	630	
	舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t =10cm以下	m2	200	
	AS殻運搬工	DT 4 t 積BH0.28m3 積込 As版カッター殻	m3	8	
	処分費		t	20	
	床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	270	
	ダスト埋戻工	ダスト B H0.28m3 タンパ転圧	m3	81	
	発生土埋戻工	在来土 B H0.28m3 タンパ転圧	m3	134	
	発生土運搬工	DT 4 t 積 BH0.28m3積込 土砂 (現場→仮置場)	m3	148	
	積込工	排出ガス対策型 BH0.80m3, 土砂 (仮置場) ルーズ	m3	148	
	流用土運搬工	DT 4 t 積 BH0.80m3積込 土砂 (仮置場→現場)	m3	148	
	残土運搬工	DT 10 t 積 BH0.80m3積込 土砂 (現場→処分地)	m3	119	
	処分費	軽質土	m3	119	
2. 仮舗装復旧工					
	下層路盤工 (市道)	人力、W=1.8m未満、タンパ転圧 RC-40、t =15cm 車道	m2	196	
	上層路盤工 (市道)	人力、W=1.8m未満、タンパ転圧 M-30、t =11cm 車道	m2	196	
	表層工 (市道)	人力、W=1.4m未満、ベルトコンベヤ 再生密粒度アスコン, t =3cm 車道 PK-3	m2	196	
	区画線工	ペイント式 W=15cm 実線	m		
	区画線工	ペイント式 W=45cm 実線	m		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
3. 本舗装復旧工	<舗装取壊し、掘削>				
	舗装切断工	As版カッター t =15 c mまで	m	320	
	舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t =10cm以下	m2	450	
	As殻運搬工	BH積込 DT4 t 運搬 Asがら	m3	16	
	処分費	Asがら	t	38	
	床堀	排出ガス対策型 B H0.28m3 レキ質土	m3	2	
	残土処理工	BH積込 DT4 t 運搬 土砂	m3	2	
	処分費	土砂	m3	2	
	<本舗装復旧>				
	表層工(車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t =4cm	m2	450	
	不陸整正		m2	450	
4. 配管工	<材料>				
	(配水管)				
	EF形HPPE φ100				
	EF直管	φ100×5,000	本	45	
	EF直管	φ75×5,000	本		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	EF直管(切管用)	受け口付 φ100×5,000	本	13	
	EF直管(切管用)	受け口付 φ75×5,000	本		
	EFソケット	φ100	個	6	
	EFソケット	φ75	個		
	EFソケット	φ50	個		
	EF両受ベント°	φ100×90°	個		
	EF両受ベント°	φ100×45°	個	7	
	EF両受ベント°	φ100×22 1/2°	個		
	EF両受ベント°	φ100×11 1/4°	個		
	EF片受ベント°	φ100×90°	個		
	EF片受ベント°	φ100×45°	個	13	
	EF片受ベント°	φ100×22 1/2°	個	2	
	EF片受ベント°	φ100×11 1/4°	個		
	EF両受ベント°	φ75×90°	個		
	EF両受ベント°	φ75×45°	個		
	EF両受ベント°	φ75×22 1/2°	個		
	EF両受ベント°	φ75×11 1/4°	個		
	EF片受ベント°	φ75×90°	個		
	EF片受ベント°	φ75×45°	個		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	EF片受ベント	φ 75×22 1/2°	個		
	EF片受ベント	φ 75×11 1/4°	個		
	EFチーズ	φ 100×φ 100	個	2	
	EFチーズ	φ 100×φ 75	個	9	
	レデューサ	φ 100×φ 75	個	1	
	PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ 100×φ 75 7.5k GF	個	4	
	フランジ短管	φ 75×H400 7.5k RF-GF	個	2	
	フランジ短管	φ 75×H500 7.5k RF-GF	個		
	補修弁	φ 75×H150 7.5k RF-GF	個	3	
	空気弁(急速)	φ 25 7.5k RF	個	3	
	不断水割T字管	鋳鉄管用 φ 100(DIP)×φ 100 7.5k GF	組	1	
	EF受口付フランジ	φ 100 FCD 7.5k GF	個	1	
	ソトシル仕切弁	φ 100 7.5k RF	基	1	
	フランジ 接合材	LSP型 φ 75 7.5k GF SUS・BN	組	9	
	フランジ 接合材	LSP型 φ 100 7.5k GF SUS・BN	組	2	
	PE挿し口付ソトシル仕切弁	φ 100 7.5k	基	3	
	PE挿し口付ソトシル仕切弁	φ 75 7.5k	基		
	PE挿し口付ソトシル仕切弁	φ 50 7.5k	基		
	管路断水器	φ 100 7.5k DIP用	基	1	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	ホールボイントロット	BPR H100	個	1	
	明示テープ	HPPE φ 100	m	304.3	
	明示テープ	HPPE φ 75	m		
	明示テープ	HPPE φ 50	m		
	管理設シート	W=150mm 2倍折込	m	304.3	
	ロケティンクワイヤー		m	304.3	
	メカニカルキャップ	φ 100	個	2	
	メカニカルキャップ	φ 50	個		
	(排水管)				
	HIVP φ 25				
	HIVP直管	φ 25×4,000	本		
	HIVP直管(切管用)	φ 25×4,000	本	1	
	HIソケット	φ 25	個	5	
	HIエルボ	φ 25×90°	個	2	
	HI伸縮自在継手	おねじ φ 25	個	1	
	<布設工>				
	(配水管)				
	HPPE φ 100				
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 100	m	301.3	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 50	m		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 100	箇所	24	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 75	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 50	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 100	口	73	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 50	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 100	口	30	
	ポリエチレン管切断工	φ 75	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 50	口		
	フランジ 継手工	φ 100 7.5k	口	2	
	フランジ 継手工	φ 75 7.5k	口	9	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ 100	口	2	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ 50	口		
	継手取外し工	メカニカル継手 φ 75	口		
	空気弁設置工	φ 75	基	3	
	仕切弁設置工	φ 100	基	4	
	仕切弁設置工	φ 75	基		
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ 100× φ 100	箇所	1	
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ 75× φ 75	箇所		
	管路断水器設置工	φ 100 DIP用	箇所	1	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	管明テープ工	HPPE φ100	m	304.3	
	管明テープ工	HPPE φ75	m		
	管明テープ工	HPPE φ50	m		
	埋設表示シート取付工	W=15cm, タブル, 50m/巻	m	304.3	
	ロケティングワイヤ取付工		m	304.3	
	(排水管)				
	HIVP φ25				
	ビニル管据付工	φ25	m	2.8	
	ビニル管継手工	TS継手 φ25	口	14	
	鋼管ねじ込み継手工	φ25	口	1	
	ビニル管切断工	φ25	口	3	
	コンクリート削孔工	φ40 L=100	箇所	1	
5. 土留工					
	軽量鋼矢板建込工・引抜工	両側分 機械力・矢板長2.0m	m	9.6	
	軽量鋼矢板建込工・引抜工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	18.7	
	軽量金属支保設置工・撤去工	1段	m	9.6	
	軽量金属支保設置工・撤去工	2段	m	18.7	
6. 弁室工					

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
材料	<仕切弁室材料>				
	鉄蓋	円形1号 H=150	個	5	
	上部壁	φ 250 H=150 NVK-25-150A	個	5	
	中部壁	φ 250 H=100 NVK-25-100B	個	1	
	中部壁	φ 250 H=150 NVK-25-150B	個	1	
	中部壁	φ 250 H=200 NVK-25-200B	個	7	
	中部壁	φ 250 H=300 NVK-25-300B	個	1	
	下部壁	φ 250/φ 350 H=300 NVK-25-300C	個	5	
	底版	φ 350 H=70 NHV0-25-70S (KRE)	個	5	
	<空気弁室材料>				
	鉄蓋	円形3号 H=100 WORS-50G-10L-F1C	個	3	
	上部壁	φ 500 H=200 W0-50-200A Nツキ	個	3	
	中部壁	φ 500 H=100 NHV0-50-100B	個	3	
	下部壁	φ 500 H=200 NHV0-50-200CH	個	3	
	底版	φ 500 H=40 NHV0-50-40S (1/2)	個	3	
設置工	<仕切弁室設置工>				
	仕切弁筐設置工	円形 250mm×H150	箇所	5	
	仕切弁筐設置工	樹脂製 上部壁 φ 250×H150	箇所	5	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	仕切弁篋設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H100	箇所	1	
	仕切弁篋設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H150	箇所	1	
	仕切弁篋設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H200	箇所	7	
	仕切弁篋設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H300	箇所	1	
	仕切弁篋設置工	樹脂製 下部壁 φ 250/ φ 350×H300	箇所	5	
	仕切弁篋設置工	樹脂製 底板 φ 350×H70	箇所	5	
	< 空気弁室設置工 >				
	空気弁篋設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	3	
	空気弁篋設置工	樹脂製 上部壁 φ 500×H200	箇所	3	
	空気弁篋設置工	樹脂製 中部壁 φ 500×H100	箇所	3	
	空気弁篋設置工	樹脂製 下部壁 φ 500×H200	箇所	3	
	空気弁篋設置工	樹脂製 底板 φ 500×H40	箇所	3	
7. 既設弁室撤去工					
	既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号 φ 250	箇所		
	既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号 φ 500	箇所	1	
8. 通水試験工					
	通水試験工	給水車なし φ 75～φ 50	日	0.3	
9. 試掘工					
	試掘工		箇所	2	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

[illegible]

数量総括表

配水管－消防(1工区) 布設工事

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
1. 配管(消防)材料					
	補修弁	φ 75×H150 7.5k RF-GF	個	1	
	フランジ短管	φ 75×H400 7.5k RF-GF	個	1	
	地下式単口消火栓	φ 75 7.5k RF	基	1	
	フランジ接合材	LSP型 φ 75 7.5k GF SUS・BN	組	3	
	消火栓ボックス	H=640			
	鉄蓋	円形3号 H=100	個	1	
	上部壁	φ 500 H=200	個	1	
	中部壁	φ 500 H=100	個	1	
	下部壁	φ 500 H=200	個	1	
	底板	φ 500 H=40	個	1	
2. 布設工					
	フランジ継手工	φ 75 7.5k	口	2	
	消火栓設置工	φ 75 地下式単口	基	1	
	<消火栓室>	H=640			
	消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	1	

土工集計表

[illegible]

土工集計表

(2/2)

[illegible]

土工延長集計表

[illegible]

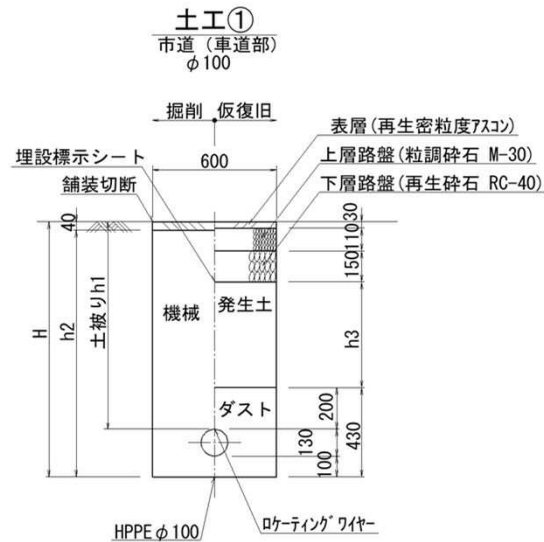
土工 ①-1

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 0.70 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.9 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	5.80
掘削深 = 0.70 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 0.890 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.07
埋戻深 在来土 = 0.04 + 0.89 - 0.43 - 0.29 = 0.210 m	As殻処理工		0.07 × 2.35	0.165	t	0.17
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 0.890	0.534	m ³	1.55
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.245	m ³	0.71
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.210	0.126	m ³	0.37
	在来土流用		在来土流用 0.41 × 0.9 = 0.37		m ³	0.41
	残土処理工		在来土流用 1.55 - 0.41 =	1.14	m ³	1.14
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74



2

埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

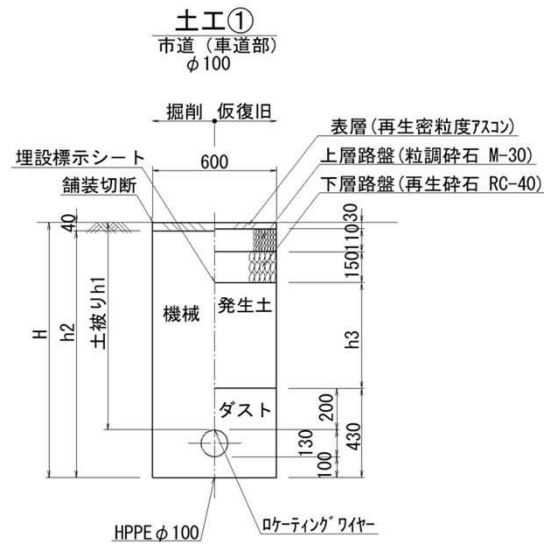
土工 ①-2

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 0.89 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 3.6 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	7.20
掘削深 = 0.89 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 1.080 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.16
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.09
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.08 - 0.43 - 0.29 = 0.400 m	As殻処理工		0.09 × 2.35	0.212	t	0.21
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.080	0.648	m ³	2.33
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.245	m ³	0.88
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.400	0.240	m ³	0.86
	在来土流用		在来土流用 0.96 × 0.9 = 0.86		m ³	0.96
	残土処理工		在来土流用 2.33 - 0.96 =	1.37	m ³	1.37
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.16
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.16
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.16



2

埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

土工 ①-3

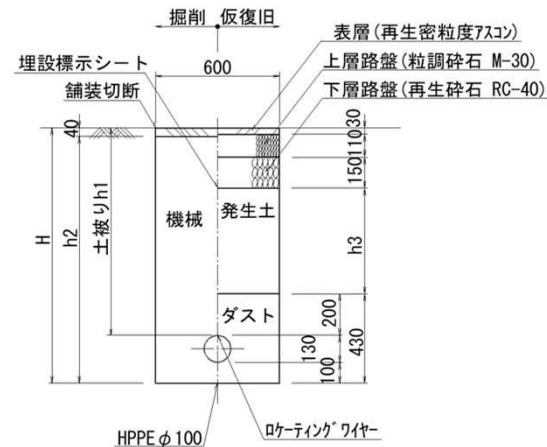
HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 0.91 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 0.4 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	0.80
掘削深 = 0.91 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 1.100 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.24
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.01
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.10 - 0.43 - 0.29 = 0.420 m	As殻処理工		0.01 × 2.35	0.024	t	0.02
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.100	0.660	m ³	0.26
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.245	m ³	0.10
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.420	0.252	m ³	0.10
	在来土流用		在来土流用 0.11 × 0.9 = 0.10		m ³	0.11
	残土処理工		在来土流用 0.26 - 0.11 =	0.15	m ³	0.15
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.24
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.24
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.24

土工①

市道(車道部)
φ100

2

埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

土工 ①-4

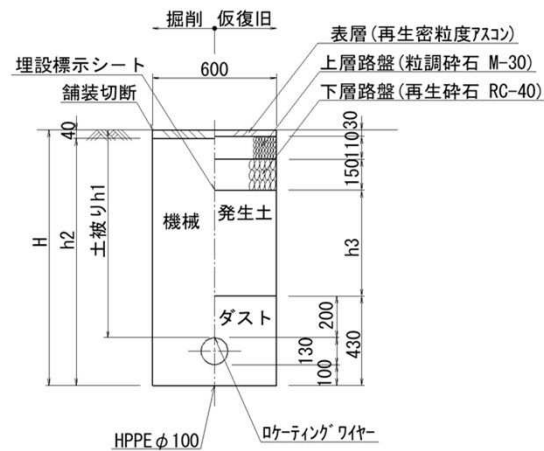
HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 1.10 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 270.3 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	540.60
掘削深 = 1.10 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 1.290 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	162.18
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	6.49
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.29 - 0.43 - 0.29 = 0.610 m	As殻処理工		6.49 × 2.35	15.252	t	15.25
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.290	0.774	m ³	209.21
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.245	m ³	66.22
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.610	0.366	m ³	98.93
	在来土流用		在来土流用 109.92 × 0.9 = 98.93		m ³	109.92
	残土処理工		209.21 - 109.92 =	99.29	m ³	99.29
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	162.18
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	162.18
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	162.18

土工①

市道(車道部)
φ100

2

埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

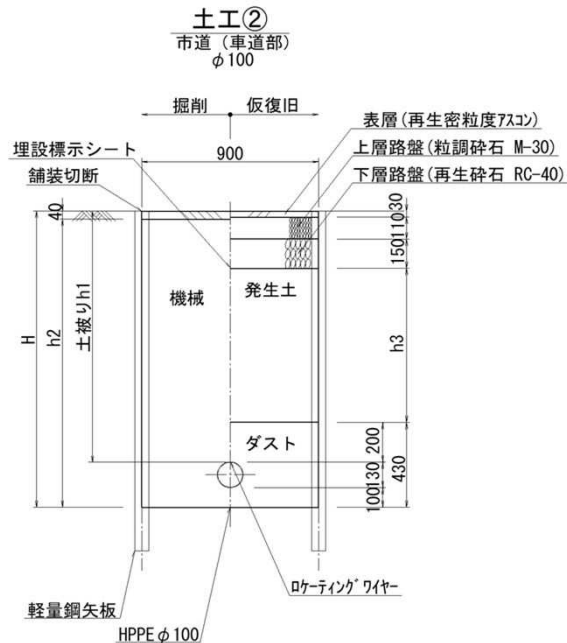
土工 ②-1

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 1.39 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 3.4 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	6.80
掘削深 = 1.39 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 1.580 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.06
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.12
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.58 - 0.43 - 0.29 = 0.900 m	As殻処理工		0.12 × 2.35	0.282	t	0.28
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.580	1.422	m ³	4.83
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.374	m ³	1.27
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.900	0.810	m ³	2.75
	在来土流用		在来土流用 3.06 × 0.9 = 2.75		m ³	3.06
	残土処理工		在来土流用 4.83 - 3.06 =	1.77	m ³	1.77
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.06
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.06
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.06



2

埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

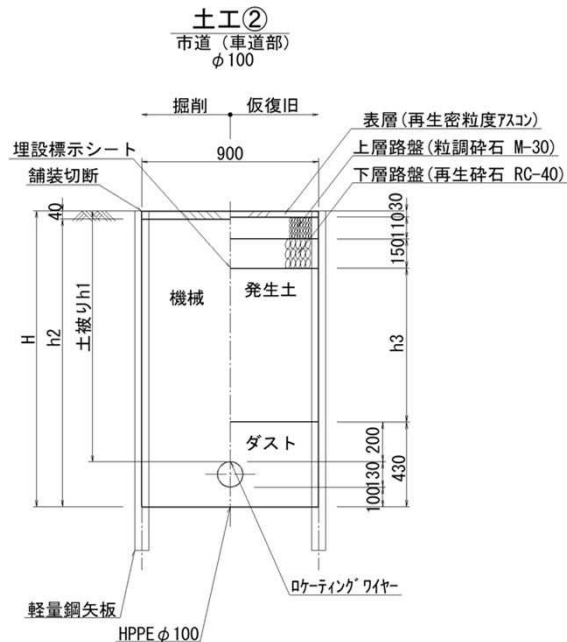
土工 ②-2

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 1.42 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 0.7 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	1.40
掘削深 = 1.42 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 1.610 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.63
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.03
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.61 - 0.43 - 0.29 = 0.930 m	As殻処理工		0.03 × 2.35	0.071	t	0.07
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.900 × 1.610	1.449	m ³	1.01
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.374	m ³	0.26
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.930	0.837	m ³	0.59
	在来土流用		在来土流用 0.66 × 0.9 = 0.59		m ³	0.66
	残土処理工		在来土流用 1.01 - 0.66 =	0.35	m ³	0.35
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.63
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.63
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.63



土工 ②-3

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 1.90 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 6.7 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	13.40
掘削深 = 1.90 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 2.090 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	6.03
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.24
埋戻深 在来土 = 0.04 + 2.09 - 0.43 - 0.29 = 1.410 m	As殻処理工		0.24 × 2.35	0.564	t	0.56
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 2.090	1.881	m ³	12.60
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.374	m ³	2.51
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.410	1.269	m ³	8.50
	在来土流用		在来土流用 9.44 × 0.9 = 8.50		m ³	9.44
	残土処理工		在来土流用 12.60 - 9.44 =	3.16	m ³	3.16
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	6.03
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	6.03
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	6.03

土工②
市道(車道部)
φ100

2
埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013

1.0式当り

略 図					工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
					算 式		数 量			
HPPE φ 100 土被り 1.97 m					<土工>					
土工延長	土工延長集計表より = 3.7 m				舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	7.40
掘削深	= 1.97 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 2.160 m				As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.33
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m				As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.13
埋戻深	在来土 = 0.04 + 2.16 - 0.43 - 0.29 = 1.480 m				As殻処理工		0.13 × 2.35	0.306	t	0.31
					掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 2.160	1.944	m ³	7.19
					埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.374	m ³	1.38
					埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 1.480	1.332	m ³	4.93
					在来土流用		在来土流用 5.48 × 0.9 = 4.93		m ³	5.48
					残土処理工		在来土流用 7.19 - 5.48 =	1.71	m ³	1.71
					As表層工(車道)	車道 人力 ハンドガット 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.33
					上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.33
					下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	3.33

土工②
市道(車道部)
φ 100

掘削 仮復旧

埋設標示シート

舗装切断

表層(再生密粒度アスコン)

上層路盤(粒調碎石 M-30)

下層路盤(再生碎石 RC-40)

発生土

ダスト

HPPE φ100

軽量鋼矢板

ロケティングワイヤー

900

40

h2

h1

機械

h3

150

10

30

100

30

200

430

2

埋戻控除 0.13 × π / 4 = 0.013

土工 ②-5

HPPE φ100

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ100 土被り 2.04 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 8.3 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	16.60
掘削深 = 2.04 + 0.13 + 0.10 - 0.04 = 2.230 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	7.47
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.13 + 0.10 = 0.430 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.30
埋戻深 在来土 = 0.04 + 2.23 - 0.43 - 0.29 = 1.550 m	As殻処理工		0.30 × 2.35	0.705	t	0.71
<p>土工② 市道(車道部) φ100</p> <p>2</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 2.230	2.007	m ³	16.66
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.430 - 0.013 (配管控除)	0.374	m ³	3.10
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 1.550	1.395	m ³	11.58
	在来土流用		在来土流用 12.87 × 0.9 = 11.58		m ³	12.87
	残土処理工		在来土流用 16.66 - 12.87 =	3.79	m ³	3.79
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	7.47
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	7.47
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	7.47
埋戻控除 0.13 × π/4 = 0.013						

土工 排-1

HIVP φ25

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HIVP φ25 土被り 1.15 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 0.5 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	1.00
掘削深 = 1.15 + 0.03 + 0.10 - 0.04 = 1.240 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.03 + 0.10 = 0.330 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.01
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.24 - 0.33 - 0.29 = 0.660 m	As殻処理工		0.01 × 2.35	0.024	t	0.02
<p>排水工土工 市道(車道部) φ50, φ25</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.240	0.744	m ³	0.37
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.330 - 0.001 (配管控除)	0.197	m ³	0.10
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.660	0.396	m ³	0.20
	在来土流用		在来土流用 0.22 × 0.9 = 0.20		m ³	0.22
	残土処理工		在来土流用 0.37 - 0.22 =	0.15	m ³	0.15
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
埋戻控除 0.03 × π/4 = 0.001						

1.0式当り

略 図				工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
						算 式	数 量		
HIVP ϕ 25 土被り 0.15 m				<土工>					
土工延長	土工延長集計表より = 1.3 m			舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 \times 1.0	2.0	m	2.60
掘削深	= 0.15 + 0.03 + 0.10 - 0.04 = 0.240 m			As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 \times 1.0	0.600	m ²	0.78
<div>排水工土工</div> <div>市道（車道部） ϕ 50, ϕ 25</div> <div>2</div>				As殻処理工		0.600 \times 0.04	0.024	m ³	0.03
				As殻処理工		0.03 \times 2.35	0.071	t	0.07
				掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600 \times 0.240	0.144	m ³	0.19
				埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 \times - 0.001（配管控除）	-0.001	m ³	—
				埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 \times		m ³	—
				在来土流用		在来土流用 \times 0.9 = —		m ³	—
				残土処理工		在来土流用 0.19 - =	0.19	m ³	0.19
埋戻控除 0.03 \times $\pi/4$ = 0.001				As表層工(車道)	車道 人力 ハンドガイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 \times 1.0	0.600	m ²	0.78
				上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 \times 1.0	0.600	m ²	0.78
				下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 \times 1.0	0.600	m ²	0.78

不断水分岐土工①φ100×φ100

数 量 計 算 書

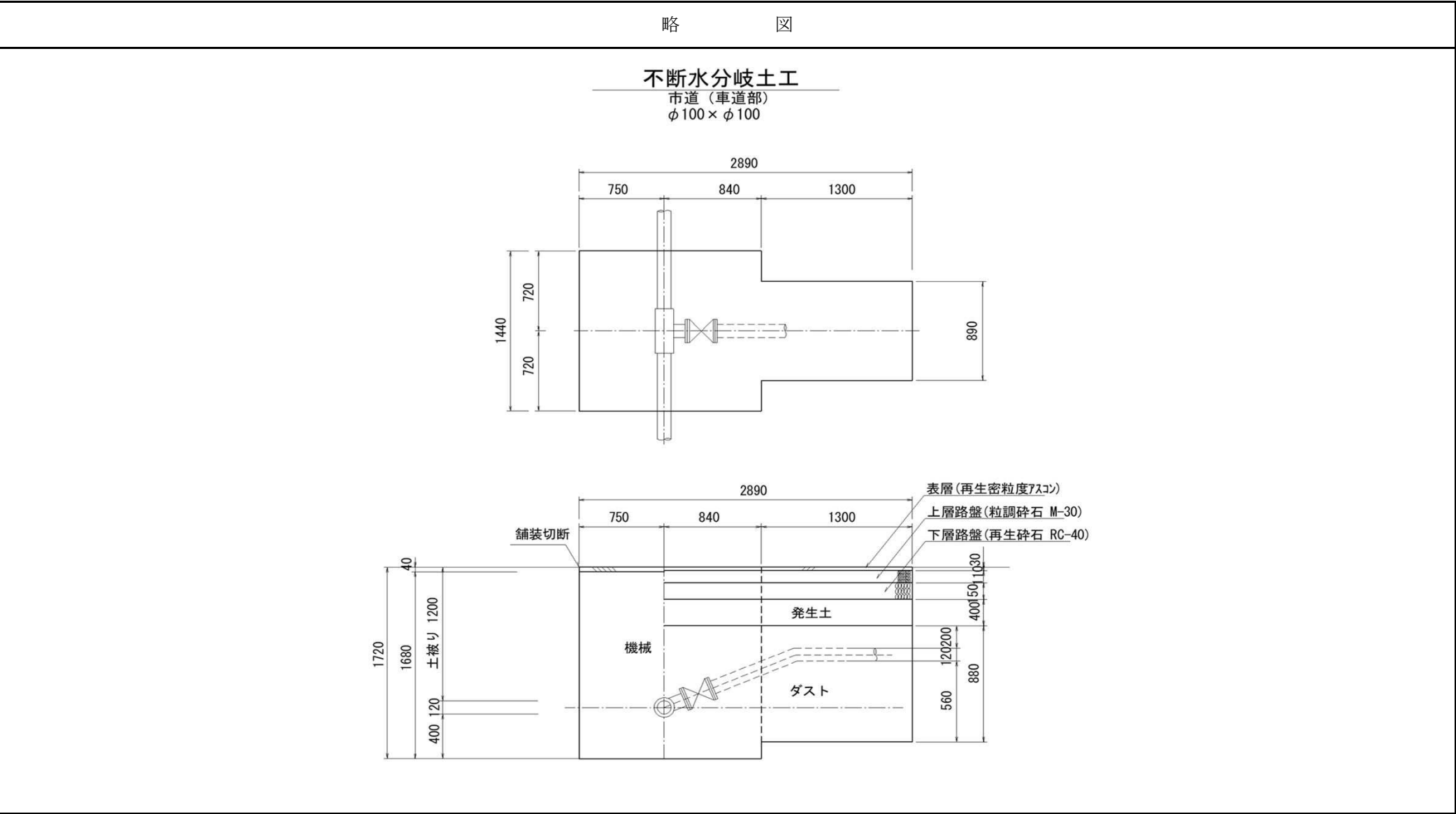
1箇所 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式
<土工>				
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	m	8.66	$(1.44 + 2.89) \times 2 = 8.660$
As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.45m3, t=15cm以下	m2	3.45	$1.44 \times 1.59 + 0.89 \times 1.30 = 3.447$
As殻処理工		m3	0.14	$3.447 \times 0.04 = 0.138$
As殻処理工		t	0.32	$0.138 \times 2.35 = 0.324$
掘削工	土砂 BH0.28m3	m3	5.60	$(1.44 \times 1.59 \times H1.68 + 0.89 \times 1.30 \times H1.53) - 1/4 \times 0.12 \times 0.12 \times \pi \times 1.44 = 5.600$
埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	m3	3.34	$(1.44 \times 1.59 \times H1.03 + 0.89 \times 1.30 \times H0.88) - 1/4 \times 0.12 \times 0.12 \times \pi \times (1.44 + 1.67) = 3.341$
埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	m3	1.38	$(1.44 \times 1.59 + 0.89 \times 1.30) \times H0.40 = 1.379$
残土処理工		m3	1.50	在来土流用 $1.50 \times 0.90 = 1.38$ $= 1.500$
残土運搬工		m3	4.10	在来土流用 $5.60 - 1.50 = 4.100$
<舗装仮復旧工>				
As表層工(車道)	車道 人力 ハンドガバ 再生密粒度アスコン t=3cm	m2	3.45	$1.44 \times 1.59 + 0.89 \times 1.30 = 3.447$
上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	m2	3.45	$1.44 \times 1.59 + 0.89 \times 1.30 = 3.447$
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40,t=15cm	m2	3.45	$1.44 \times 1.59 + 0.89 \times 1.30 = 3.447$

不断水分岐土工①φ100×φ100

数 量 計 算 書

1箇所 当り



管路断水器設置工

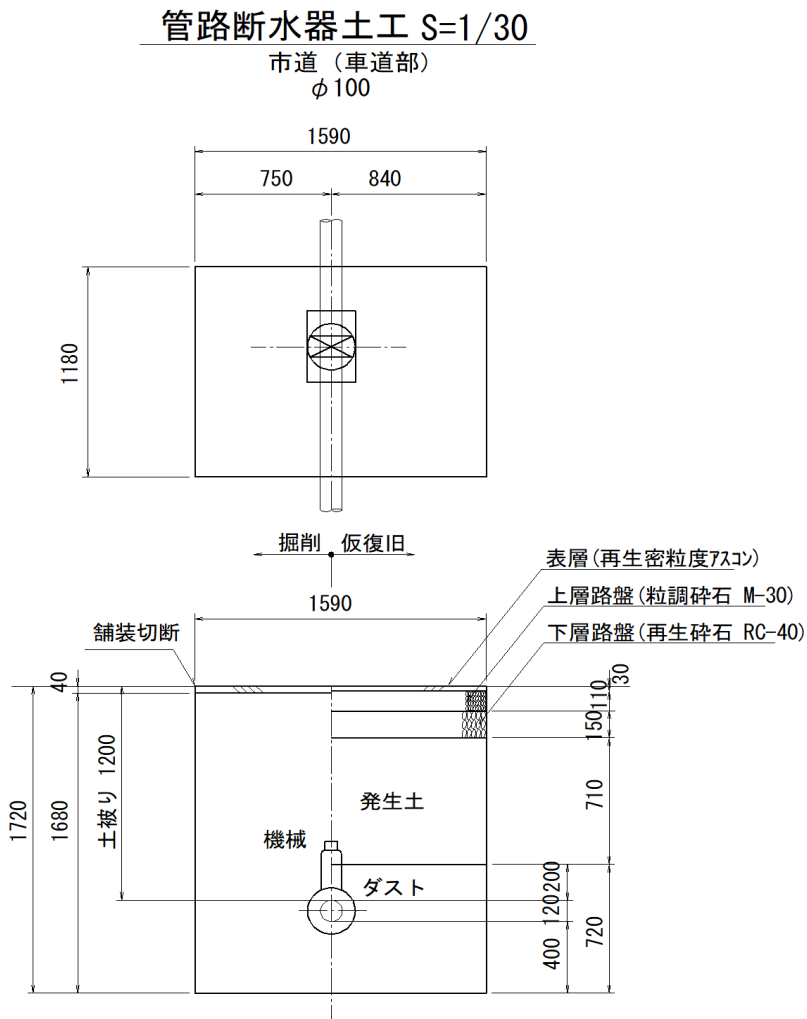
① φ100管路断水器

土工数量計算書

1箇所当り

工 種	細 別	計 算 式	単位	数 量
<土工>				
舗装切断工	As版カッター t = 15 c m まで	(1.590 + 1.18) × 2	m	5.54
As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.45m3, t = 15cm以下	1.590 × 1.180	m ²	1.88
As殻処理工		1.88 × 0.04	m ³	0.08
As殻処理工		0.08 × 2.35	t	0.19
床掘工	土砂 BH0.28m3	$1.59 \times 1.18 \times 1.68 - \pi / 4 \times 0.12^2 \times 1.18$	m ³	3.14
埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	$1.59 \times 1.18 \times 0.72 - \pi / 4 \times 0.12^2 \times 1.18$	m ³	1.34
埋戻工	発生土 BH0.45m3 タンパ転圧	$1.59 \times 1.18 \times 0.71$	m ³	1.33
在来土流用		発生土流用 1.48 × 0.9 = 1.33	m ³	1.48
残土処理工		発生土流用 3.14 - 1.48 =	m ³	1.66
<舗装復旧工>				
As表層工(車道)	車道 人力 ハンドガット 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	1.88	m ²	1.88
上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	1.88	m ²	1.88
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	1.88	m ²	1.88

略 図



HPPE φ100 切管調書

略 図	甲 切 管			乙 切 管												計	残	切断 (c)
┐— — 3.980 0.92			3.980			0.92										4.900	0.100	2
┐— — 2.750 2.19			2.75			2.19										4.940	0.060	2
┐— — 3.170 1.00			3.17			1.00										4.170	0.830	2
┐— — — 2.330 1.19 0.73			2.33			1.19			0.73							4.250	0.750	3
┐— — 2.170 2.76			2.17			2.76										4.930	0.070	2
┐— — — 3.000 1.00 0.51			3.00			1.00			0.51							4.510	0.490	3
┐— 4.610			4.61													4.610	0.390	1
┐— — 2.040 2.78			2.04			2.78										4.820	0.180	2
┐— — 1.000 3.93			1.00			3.93										4.930	0.070	2
┐— — 0.860 4.05			0.86			4.05										4.910	0.090	2
┐— — — 2.960 1.07 0.48			2.96			1.07			0.48							4.510	0.490	3
┐— — — 2.530 1.00 0.88			2.530			1.00			0.88							4.410	0.590	3
┐— — — 2.270 1.71 0.78			2.27			1.71			0.78							4.760	0.240	3
																	—	
合 計	直管 HPPE φ100			L = 5,000			13 本									60.650	4.350	30

HIVP φ25 切管調書

略 図																計	残	切断 (c)
— — — 0.500 1.00 1.30			0.50			1.00			1.30							2.800	1.200	3
合 計	直管 HIVP φ25			L = 4,000			1 本									2.800	1.200	3

本舗装復旧工

項 目			単位	計	設計数量
名 称	形状寸法	算 式			
<舗装取壊し、掘削>					
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	舗装復旧図より A1路線 A2路線 A3路線 294.90 + 19.50 + 7.60	m	322.00	320
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	舗装復旧図より A1路線 A2路線 A3路線 414.70 + 26.90 + 8.30	m ²	449.90	450
As殻運搬工	BH積込 DT4t運搬 Asガラ	仮舗装 196.25 × 0.03 + (449.90 - 196.25) × 0.04	m ³	16.034	16
処分費	Asガラ	16.034 × 2.35	t	37.68	38
床堀	排出ガス対策型 BH0.28m3 レキ質土	196.25 × 0.01	m ³	1.963	2
残土処理工	BH積込 DT4t運搬 土砂	1.963	m ³	1.963	2
処分費	土砂	1.963	m ³	1.963	2
<本舗装復旧>					
(市道) 表層工(車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t=4cm	449.90	m ²	449.90	450
不陸整正		449.90	m ²	449.90	450

配水管 材料

名 称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量								設計 計上 数量	管種口径別									
				配水管									延 長			EF継手(融着)						フレンジ
				A路線	G路線								HPPE			箇所数	口数	箇所数	口数	箇所数	口数	口数
				φ 100	φ 100											φ 100	φ 100					φ 100, 75
EF形HPPE φ 100																					7.5k	
EF直管	φ 100×5,000	本	5.00	45								45	225.00				45					
EF直管	φ 75×5,000	本	5.00									—						—				
EF直管(切管用)	受け口付 φ 100×5,000	本	5.00									切管調書 13	60.65				13					
EF直管(切管用)	受け口付 φ 75×5,000	本	5.00									切管調書 —						—				
EFソケット	φ 100	個	—	6								6				6						
EFソケット	φ 75	個	—									—				—						
EFソケット	φ 50	個	—									—					—					
EF両受ベント	φ 100×90°	個	0.50									—										
EF両受ベント	φ 100×45°	個	0.38	6	1							7	2.66			7						
EF両受ベント	φ 100×22 1/2°	個	0.28									—				—						
EF両受ベント	φ 100×11 1/4°	個	0.28									—				—						
EF片受ベント	φ 100×90°	個	0.61									—					—					
EF片受ベント	φ 100×45°	個	0.49	13								13	6.37				13					
EF片受ベント	φ 100×22 1/2°	個	0.39	2								2	0.78				2					
EF片受ベント	φ 100×11 1/4°	個	0.40									—					—					
EF両受ベント	φ 75×90°	個	0.44									—										
EF両受ベント	φ 75×45°	個	0.38									—				—						
EF両受ベント	φ 75×22 1/2°	個	0.28									—				—						

[illegible]

配水管 布設工

名 称	形状・寸法	単位	算 式	設計計上 数 量
< 布設工 >				
HPPE φ100				
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ100	m	PE仕切弁 2.58 S仕切弁 0.25 不断水T字管 0.13 = 301.34	301.3
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ75	m	PE仕切弁 =	
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ50	m	PE仕切弁 S仕切弁 不断水T字管 =	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ100	箇所	24 = 24	24
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ75	箇所	=	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ50	箇所	=	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ100	口	73 = 73	73
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	=	
ホ°ポリエチレン管切断工	φ100	口	切管調書より 30 = 30	30
ホ°ポリエチレン管切断工	φ75	口	切管調書より =	
ホ°ポリエチレン管切断工	φ50	口	切管調書より =	
フランジ継手工	φ100 7.5k	口	2 = 2	2
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	9 = 9	9
メカニカル継手工	離脱防止付 φ100	口	2 = 2	2
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口	=	
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口	=	

[illegible]

[illegible]

排水管 布設工

[illegible]

仕 切 弁 室 工 数 量 集 計 書

[illegible]

仕切弁室工数量集計書

[illegible]

空氣弁室工数量集計書

[illegible]

土留工

[illegible]

消火栓 材料

[illegible]

消火栓 設置工

名 称	形状・寸法	単位	算 式	設計計上 数 量
<設置工>				
消火栓				
消火栓設置工	φ 75 地下式単口	基	1 = 1	1
フランジ継手工	φ 75 7.5k	口	消火栓 (3 - 1) = 2	2
<消火栓室>	H=640			
消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	1 = 1	1
消火栓筐設置工	樹脂製 上部壁 φ 500×H200	箇所	1 = 1	1
消火栓筐設置工	樹脂製 中部壁 φ 500×H100	箇所	1 = 1	1
消火栓筐設置工	樹脂製 下部壁 φ 500×H200	箇所	1 = 1	1
消火栓筐設置工	樹脂製 底板 φ 500×H40	箇所	1 = 1	1

弁室撤去工集計表

[illegible]

既設弁室撤去土工

数 量 計 算 書

1 箇所

略 図	工 種	細 別	1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
	<土工>					
	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	1.0 × 4	= 4.0	m	4.00
	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m ²	1.00
	As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m ³	0.04
	As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	0.09
	掘削工	土砂 BH0.28m3	1.00 × 1.00 × H	0.560	m ³	0.56
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	1.00 × 1.00 × H	0.310	m ³	0.31
	在来土流用		在来土流用 0.34 × 0.9 = 0.31	0.34	m ³	0.34
	残土処理工		在来土流用 0.56 - 0.34 =	0.22	m ³	0.22
	<舗装仮復旧工>					
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドがけ 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m ²	1.00
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m ²	1.00
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m ²	1.00

通水試験工

[illegible]

試掘工(各路線2箇所)

数 量 計 算 書

2 箇所

略 図	工 種	細 別	1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
	<土工>					
	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	1.0 × 4	= 4.0	m	8.00
	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m2	2.00
	As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m3	0.08
	As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	0.19
	掘削工	土砂 BH0.28m3	1.00 × 1.00 × H	0.960	m3	1.92
	発生土運搬工	DT 4t積 BH0.28m3積込 土砂(現場～仮置場)			m3	1.92
	積込工	排出ガス対策型 BH0.80m3, 土砂(仮置場)ルーズ			m3	1.92
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	1.00 × 1.00 × H	0.710	m3	1.42
	流用土運搬工	DT 4t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～現場)	在来土流用 1.58 × 0.9 = 1.42	0.00	m3	1.58
	残土運搬工	DT 10t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～処分地)	在来土流用 1.92 - 1.58 =	0.34	m3	0.34
	処分費	レキ質土			m3	0.34
	<舗装仮復旧工>					
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドがけ 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m2	2.00
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	2.00
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	2.00

作業日数算定表(交通誘導員)

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
1工区								
<土工>								
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	m	630	230	2.74	1.7	4.66	
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	200	194	1.03	1.7	1.75	
床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	270	85	3.18	1.7	5.41	
ダスト埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	m3	81	36	2.25	1.7	3.83	
発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	m3	134	36	3.72	1.7	6.32	
<仮復旧>								
下層路盤工(市道)	人力、W=1.8m未満、タンバ転圧 RC-40、t=15cm 車道	m2	196	222	0.88	1.7	1.50	
上層路盤工(市道)	人力、W=1.8m未満、タンバ転圧 M-30、t=11cm 車道	m2	196	222	0.88	1.7	1.50	
表層工(市道)	人力、W=1.4m未満、ハット'カ'ット 再生密粒度アスコン、t=3cm 車道 PK-3	m2	196	250	0.78	1.7	1.33	
<本舗装復旧>								
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	m	320	230	1.39	1.7	2.36	
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	450	194	2.32	1.7	3.94	
床堀	レキ質土 レキ質土	m3	2	85	0.02	1.7	0.03	
表層工(車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t=4cm	m2	450	250	1.80	1.7	3.06	
区画線工	ペイント式 W=15cm 実線	m		1000		1.7		
不陸整正		m2	450	1500	0.30	1.7	0.51	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
<管布設工>								
(配水管)								
HPPE φ100								
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ100	m	301.3	83.3	3.62	1.7	6.15	
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ50	m		100.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ100	箇所	24.0	14.3	1.68	1.7	2.86	
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ75	箇所		20.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ50	箇所		25.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ100	口	73.0	20.4	3.58	1.7	6.09	
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ50	口		35.7		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ100	口	30.0	50.0	0.6	1.7	1.02	
ポリエチレン管切断工	φ75	口		100.0		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ50	口		100.0		1.7		
フランジ継手工	φ100 7.5k	口	2.0	16.7	0.12	1.7	0.2	
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	9.0	16.7	0.54	1.7	0.92	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ100	口	2.0	20.0	0.1	1.7	0.17	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口		20.0		1.7		
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口		32.0		1.7		
空気弁設置工	φ75	基	3.0	20.0	0.15	1.7	0.26	
仕切弁設置工	φ100	基	4.0	17.5	0.23	1.7	0.39	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
仕切弁設置工	φ 75	基		17.5		1.7		
不断水連絡工	铸铁管用 φ 100× φ 100	箇所	1.0	3.6	1	1.7	1.7	
不断水連絡工	铸铁管用 φ 75× φ 75	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ 100 DIP用	箇所	1.0	3.6	1	1.7	1.7	
管明テープ工	HPPE φ 100	m	304.3	833.3	0.37	1.7	0.63	
管明テープ工	HPPE φ 75	m		909.1		1.7		
管明テープ工	HPPE φ 50	m		1111.1		1.7		
埋設表示シート取付工	W=15cm, ダブル, 50m/巻	m	304.3	250.0	1.22	1.7	2.07	
ロケーティングワイヤー取付工		m	304.3	1000.0	0.3	1.7	0.51	
(排水管)								
HIVP φ 25								
ビニル管据付工	φ 25	m	2.8	142.9	0.02	1.7	0.03	
ビニル管継手工	TS継手 φ 25	口	14.0	100.0	0.14	1.7	0.24	
鋼管ねじ込み継手工	φ 25	口	1.0	100.0	0.01	1.7	0.02	
ビニル管切断工	φ 25	口	3.0	100.0	0.03	1.7	0.05	
<土留工>								
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力・矢板長2.0m	m	9.6	12.3	0.78	1.7	1.33	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	9.6	16.8	0.57	1.7	0.97	
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	18.7	9.8	1.91	1.7	3.25	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	18.7	13.4	1.4	1.7	2.38	
< 弁室設置工 >								
< 仕切弁室設置工 >								
仕切弁筐設置工	円形 250mm×H150	箇所	5.0	16.7	0.3	1.7	0.51	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 上部壁 φ250×H150	箇所	5.0	100.0	0.05	1.7	0.09	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H100	箇所	1.0	100.0	0.01	1.7	0.02	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H150	箇所	1.0	100.0	0.01	1.7	0.02	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H200	箇所	7.0	100.0	0.07	1.7	0.12	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H300	箇所	1.0	100.0	0.01	1.7	0.02	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 下部壁 φ250/φ350×H300	箇所	5.0	100.0	0.05	1.7	0.09	
仕切弁筐設置工	レゾコン製 底板 φ350×H70	箇所	5.0	100.0	0.05	1.7	0.09	
< 空気弁室設置工 >								
空気弁筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	3.0	10.0	0.3	1.7	0.51	
空気弁筐設置工	レゾコン製 上部壁 φ500×H200	箇所	3.0	33.3	0.09	1.7	0.15	
空気弁筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ500×H100	箇所	3.0	50.0	0.06	1.7	0.1	
空気弁筐設置工	レゾコン製 下部壁 φ500×H200	箇所	3.0	50.0	0.06	1.7	0.1	
空気弁筐設置工	レゾコン製 底板 φ500×H40	箇所	3.0	50.0	0.06	1.7	0.1	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
<既設弁室撤去工>								
既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号 φ250	箇所		26.7		1.7		
既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号 φ500	箇所	1.0	16.0	0.06	1.7	0.1	
<通水試験工>								
通水試験工	給水車なし φ75～φ50	m	307.1	750	0.41	1.7	0.7	
合 計					42		72	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	43日	=	129人	交代要員を含む実働日数とし、 1日当り3人/組を計上する。
消火栓								
<管布設工>								
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	2.0	16.7	0.12	1.7	0.2	
消火栓設置工	φ75 地下式単口	基	1.0	12.5	0.08	2.7	0.22	
<消火栓室>	H=640							
消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	1.0	10	0.1	4.7	0.47	
消火栓筐設置工	レゾコン製 上部壁 φ500×H200	箇所	1.0	33.3	0.03	5.7	0.17	
消火栓筐設置工	レゾコン製 中部壁 φ500×H100	箇所	1.0	50	0.02	6.7	0.13	
消火栓筐設置工	レゾコン製 下部壁 φ500×H200	箇所	1.0	50	0.02	7.7	0.15	
消火栓筐設置工	レゾコン製 底板 φ500×H40	箇所	1.0	50	0.02	8.7	0.17	
合 計					1		2	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	1日	=	3人	交代要員を含む実働日数とし、 1日当り3人/組を計上する。

仮設材質料日数

名 称	形状寸法	単位	算 式				設計計上 数 量
軽量鋼矢板	矢板長 L=2.00m	日	土工②-1 0.65	土工②-2 + 0.37	不断水分岐土工 + 0.8	= 設置・在場期間 1.82	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 1.82	搬出期間 + 4	= 賃料期間 10.8	11
軽量鋼矢板	矢板長 L=2.50m	日	土工②-3 2.1	土工②-4 + 0.85	土工②-5 + 2.1	= 設置・在場期間 5.1	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 5.1	搬出期間 + 4	= 賃料期間 14.1	15
支保工 1段	腹起し 110mm×130mm×4000L	日	土工②-1 0.65	土工②-2 + 0.37	不断水分岐土工 0.8	= 設置・在場期間 1.82	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 1.8	搬出期間 + 4	= 賃料期間 10.8	11
	水圧式サポート 450～650程度	日	土工②-1 0.65	土工②-2 + 0.37	不断水分岐土工 0.8	= 設置・在場期間 1.82	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 1.8	搬出期間 + 4	= 賃料期間 10.8	11
	水圧式サポート 700～1300程度	日	不断水分岐土工 0.8			= 賃料期間 0.8	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 0.8	搬出期間 + 4	= 賃料期間 9.8	10
支保工 2段	腹起し 110mm×130mm×4000L 水圧式サポート 450～650程度	日	土工②-3 2.1	土工②-4 + 0.85	土工②-5 + 2.1	= 設置・在場期間 5.05	
			搬入期間 5	設置・在場期間 + 5.1	搬出期間 + 4	= 賃料期間 14.1	15

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 (土工②-1 HPPE φ 100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	3.40 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.58 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 100		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	4.83 m ³		
埋戻土:	4.02 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	3.40 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 100 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	= =	83.3 m/日 11.9 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 4.83	÷ 59 m ³ /日	= 0.08
(2)土留工・支保工設置	3.40m / + 3.40m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.09
		0.09 × 1.8	= 0.2 日
(3)管布設工	3.40m / 2 箇所 /	83.3 m/日 11.9 箇所/日	= 0.04 = 0.17
		計 = 0.21	
		0.21 × 1.8	= 0.4 日
(4)埋戻工	対象V= 4.02	÷ 36.0 m ³ /日	= 0.11
		0.11 × 1.8	= 0.2 日
(6)土留工・支保工撤去	3.40m / + 3.40m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.05
		0.05 × 1.8	= 0.1 日

項 目	稼働日数	工程計画表		
掘削工	0.1 日	(0.0)	(0.1)	0.1
土留設置工	0.2 日		(0.2)	0.3
管布設工	0.40 日		(0.2)	(0.2) 0.5
埋戻工	0.2 日		(0.1)	(0.1) 0.6
	0.0 日		(0.0)	(0.0) 0.6
土留撤去工	0.1 日		(0.1)	(0.1) 0.7
損料日数		矢板・支保損料日数 0.7 日		
水替日数				

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.7日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.7 日 + 9 日 = 9.7 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(土工②-2 HPPE φ 100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	0.70 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.61 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 100		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	1.01 m ³		
埋戻土:	0.85 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	0.70 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工			
	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 100 配管工		
	10m ÷ 0.12 (人/10m)	=	83.3 m/日
	1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工			
	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 1.01 ÷	59 m ³ /日	= 0.02
		0.02 × 1.8	= 0.03 日
(2)土留工・支保工設置	0.70m / + 0.70m /	166.7 m/日 166.7 m/日	= 0.01
		0.01 × 1.8	= 0.02 日
(3)管布設工	0.70m / 4 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.01 = 0.32
		計 = 0.33	
		0.33 × 1.8	= 0.59 日
(4)埋戻工	対象V= 0.85 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.02
		0.02 × 1.8	= 0.04 日
(6)土留工・支保工撤去	0.70m / + 0.70m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.01
		0.01 × 1.8	= 0.02 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.03 日	(0.01)	(0.02) 0.03
土留設置工	0.02 日	(0.02)	0.04
管布設工	0.59 日	(0.29)	(0.30) 0.34
埋戻工	0.04 日	(0.02)	(0.02) 0.36
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.36
土留撤去工	0.02 日	(0.01)	(0.01) 0.37
損料日数		矢板・支保損料日数 0.37 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.4日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.4 日 + 9 日 = 9.4 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(不断水分岐土工 φ100×φ100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	2.89 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.68 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	1.44 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	DIP φ100部		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	5.60 m ³		
埋戻土:	4.72 m ³	補正係数:	1.8
土留延長:	4.33 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	67 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より DIP φ100部 不断水連絡 φ100×φ100より 仕切弁設置 φ100	= =	0.28 箇所/日 0.03 基/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 5.60 ÷	67 m ³ /日	= 0.08
(2)土留工・支保工設置	4.33m / + 4.33m /	41.7 m/日 166.7 m/日	= 0.09
		0.09 × 1.8	= 0.2 日
(3)管布設工	不断水連絡 仕切弁設置	0.28 箇所/日 = 0.03 基/日 = 計 =	0.28 0.03 0.31
		0.31 × 1.8	= 0.6 日
(4)埋戻工	対象V= 4.72 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.13
		0.13 × 1.8	= 0.2 日
(6)土留工・支保工撤去	4.33m / + 4.33m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.04
		0.04 × 1.8	= 0.1 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.2 日	(0.1)	(0.1) 0.2
土留設置工	0.2 日	(0.2)	0.3
管布設工	0.60 日	(0.3)	(0.3) 0.6
埋戻工	0.2 日	(0.1)	(0.1) 0.7
	0.0 日	(0.0)	(0.0) 0.7
土留撤去工	0.1 日	(0.1)	(0.1) 0.8
損料日数		矢板・支保損料日数 0.8 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.8日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.8 日 + 9 日 = 9.8 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工②-3 HPPE φ 100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	6.70 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	2.09 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 100		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	12.60 m ³		
埋戻土:	11.01 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	6.70 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 100 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 12.60 12.60 ÷	59 m ³ /日	= 0.21
(2)土留工・支保工設置	6.70m / + 6.70m /	41.7 m/日 166.7 m/日	= 0.20
(3)管布設工	6.70m / #####	83.3 m/日 12.5 箇所/日 計 =	= 0.08 1.20 1.28
(4)埋戻工	対象V= 11.01 11.01 ÷	36.0 m ³ /日 0.31 ×	= 0.31 1.8
(6)土留工・支保工撤去	6.70m / + 6.70m /	111.1 m/日 200.0 m/日 0.09 ×	= 0.09 1.8

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.38 日	(0.19)	(0.19) 0.38
土留設置工	0.36 日	(0.36)	0.55
管布設工	2.30 日	(1.15)	(1.15) 1.70
埋戻工	0.55 日	(0.27)	(0.28) 1.98
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.98
土留撤去工	0.17 日	(0.08)	(0.09) 2.07
損料日数		矢板・支保損料日数 2.07 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 2.1日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 2.1 日 + 9 日 = 11.1 日 ≒ 12 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工②-4 HPPE φ 100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	3.70 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	2.16 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 100		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	7.19 m ³		
埋戻土:	6.31 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	3.70 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 100 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 7.19 ÷	59 m ³ /日	= 0.12
(2)土留工・支保工設置	3.70m / + 3.70m /	41.7 m/日 166.7 m/日	= 0.11
		0.11 × 1.8	= 0.20 日
(3)管布設工	3.70m / 4 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.04 0.32
		計 = 0.36	
		0.36 × 1.8	= 0.66 日
(4)埋戻工	対象V= 6.31 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.18
		0.18 × 1.8	= 0.32 日
(6)土留工・支保工撤去	3.70m / + 3.70m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.05
		0.05 × 1.8	= 0.09 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.22 日	(0.11)	(0.11) 0.22
土留設置工	0.20 日	(0.20)	0.31
管布設工	0.66 日	(0.33)	(0.33) 0.64
埋戻工	0.32 日	(0.16)	(0.16) 0.80
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.80
土留撤去工	0.09 日	(0.04)	(0.05) 0.85
損料日数		矢板・支保損料日数 0.85 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.9日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.9 日 + 9 日 = 9.9 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工②-5 HPPE φ 100)			
1. 設計条件			
掘削延長:	8.30 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	2.23 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 100		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	16.66 m ³		
埋戻土:	14.68 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	8.30 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工			
	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員		
	100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 100 配管工		
	10m ÷ 0.12 (人/10m)	=	83.3 m/日
	1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工			
	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員		
	100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 16.66	÷ 59 m ³ /日	= 0.28
		0.28 × 1.8	= 0.51 日
(2)土留工・支保工設置	8.30m / + 8.30m /	41.7 m/日 41.7 m/日	= 0.40
		0.40 × 1.8	= 0.72 日
(3)管布設工	8.30m / 7 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.10 = 0.56
		計 = 0.66	
		0.66 × 1.8	= 1.19 日
(4)埋戻工	対象V= 14.68	÷ 36.0 m ³ /日	= 0.41
		0.41 × 1.8	= 0.73 日
(6)土留工・支保工撤去	8.30m / + 8.30m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.12
		0.12 × 1.8	= 0.21 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.51 日	(0.25)	(0.26) 0.51
土留設置工	0.72 日	(0.72)	0.98
管布設工	1.19 日	(0.59)	(0.60) 1.58
埋戻工	0.73 日	(0.36)	(0.37) 1.95
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.95
土留撤去工	0.21 日	(0.10)	(0.11) 2.06
損料日数		矢板・支保損料日数 2.06 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 2.1日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 2.1 日 + 9 日 = 11.1 日 ≒ 12 日 とする。

矢板等 仮設材運搬重量

1.0 式 当り

種 別	形状寸法	単位	算 式	数 量
軽量鋼矢板	I 型 t=4mm		矢板長 = 2.00 m (2面) 延長 = 5.50 m (最大スパン長) 土留工算定表より $\frac{5.50 \text{ m}}{2.00 \text{ m}} \div 0.250 \times 2 \text{ 面} = 44 \text{ 枚}$ $2.00 \text{ m} \times 44 \text{ 枚} \times 0.0104 \text{ t/m} = 0.915 \text{ t}$ 矢板長 = 2.50 m (2面) 延長 = 8.30 m (最大スパン長) 土留工算定表より $\frac{8.30 \text{ m}}{2.50 \text{ m}} \div 0.250 \times 2 \text{ 面} = 67 \text{ 枚}$ $2.50 \text{ m} \times 67 \text{ 枚} \times 0.0104 \text{ t/m} = 1.742 \text{ t}$	
軽量金属支保	設置段数 = 1 段 切梁長 = 平均0.61 mを想定		土留工算定表より(管路部) 腹起し材 3.40 m ÷ 4.00 m = 1 本 $1 \text{ 本} \times 2 \text{ 面} \times 1 \text{ 段} = 2 \text{ 本}$ 切梁材 1 本 × 2 × 1 段 = 2 本	
軽量金属支保	設置段数 = 1 段 切梁長 = 平均0.90 mを想定		土留工算定表より(不断水部) 腹起し材 5.50 m ÷ 4.00 m = 2 本 $2 \text{ 本} \times 2 \text{ 面} \times 1 \text{ 段} = 4 \text{ 本}$ 切梁材 2 本 × 2 × 1 段 = 4 本	
軽量金属支保	設置段数 = 2 段 切梁長 = 平均0.61 mを想定		土留工算定表より 腹起し材 8.30 m ÷ 4.00 m = 3 本 $3 \text{ 本} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 段} = 12 \text{ 本}$ 切梁材 3 本 × 2 × 2 段 = 12 本	4
腹起し材	管埋設工事用(アルミ製) 110mm×130mm×4000L		$(2 + 4 + 12) \times 0.0386 \text{ t/本(カタログ)} = 0.695 \text{ t}$	
切梁材	水圧式サポート(アルミ製) 調整長 450～650程度		$(2 + 12) \times 0.0085 \text{ t/本(カタログ)} = 0.119 \text{ t}$	
	水圧式サポート(アルミ製) 調整長800～1300程度		$4 \times 0.0115 \text{ t/本(カタログ)} = 0.046 \text{ t}$	
運搬重量 計		t	3.517 t	3.5